

地球温暖化をとめよう

土木工学科 山崎大輝

土木工学科 宮入郷綺



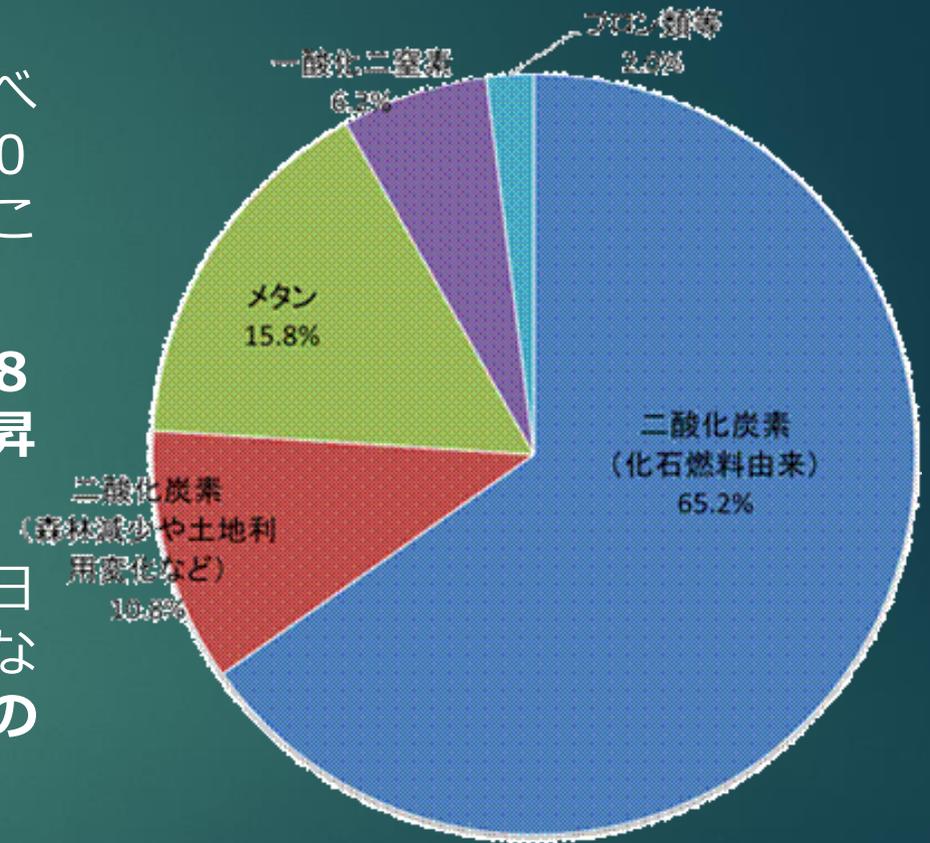
①テーマ設定の理由

地球温暖化が進み気温が上昇していくなかでどのような知識を得て行動に移せるかと考えてたら、発電が身近だと思い調べる事にしました。



②現状

- ▶ 現状として大気中の二酸化炭素は産業革命前に比べて**40%上昇**しています。日本の平均気温は100年あたりで**1.14度の割合で上昇**しています。これは**世界平均より高い上昇率**となります。
- ▶ 日本近海の海面水温は、100年あたりで**1.08度上昇**しています。これも**世界平均よりも高い上昇率**となります。
- ▶ 異常気象においても可能性が非常に高いのは暑い日の増加や寒い日の減少、高温と熱波の増加、極端な高潮の増加などがあげられ**日本では大雨・猛暑日の増加**があげられます。



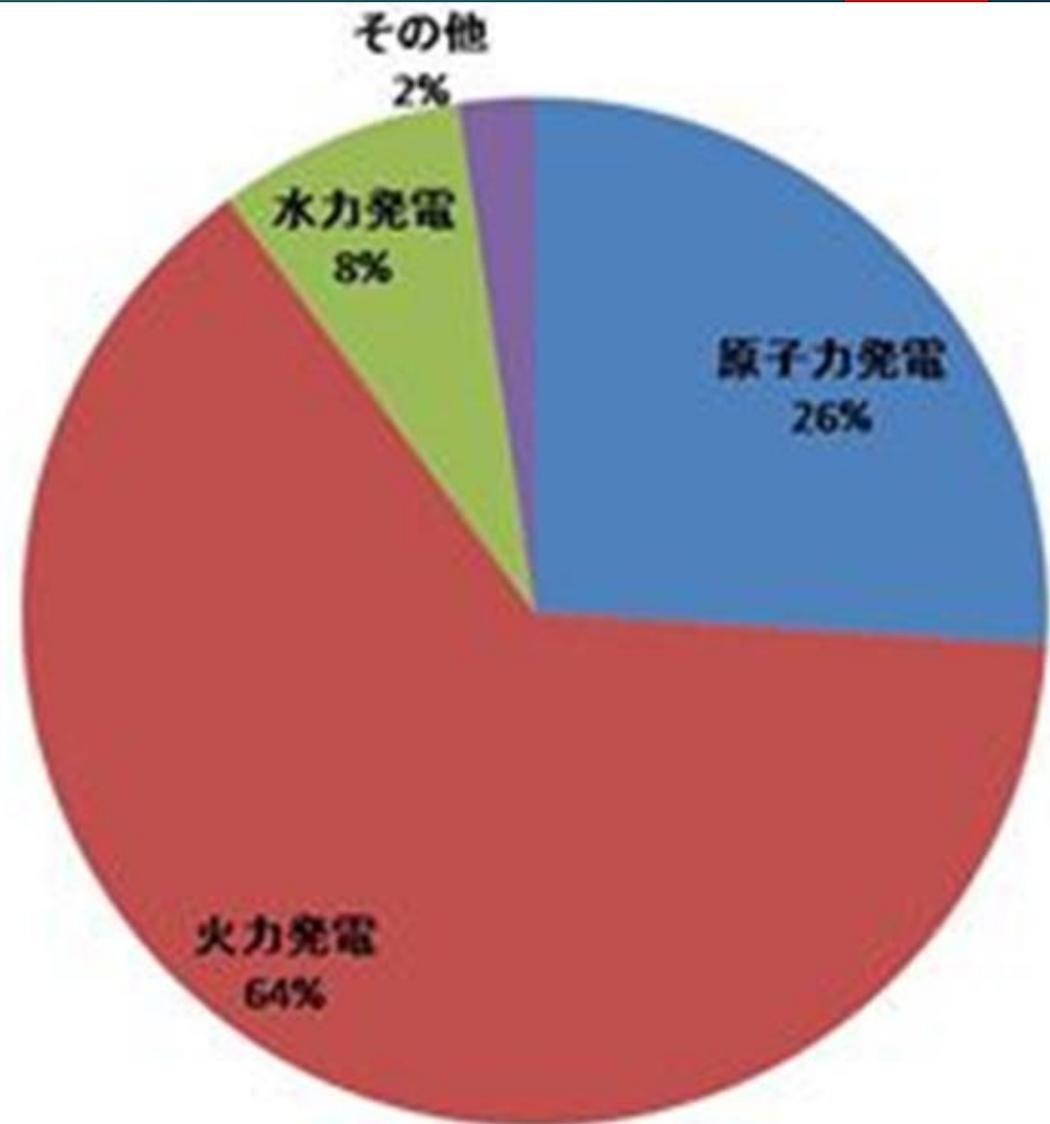
③問題点

- ▶地球温暖化の原因でもあり、私たちの身近な発電に注目してみました。二酸化炭素の排出量が最も多い発電は、石炭火力発電です！！！！。

- ▶ 2008年の時点で日本の発電の多くを占めているのが**石炭火力発電**で、

その割合は**64%**です。**温室効果ガスの総排出量は12億8600万トン**となり、1995年と比べると増加しており**総排出量は1.9%上回っています**。

更にデメリットとして大量の化石燃料を消費することや、**原発ゼロのしわ寄せで石炭火力発電所の点検が十分にできないこと**などがあげられます。



2008年の日本の発電割合

④今後の課題

- ▶ 解決策として石炭火力発電所を廃止し再生可能エネルギーの使用を進めていけばいいと思う再生可能エネルギーの例として**風力発電**や**太陽光発電**などがあります。風力発電は燃料を燃焼するわけではないので、温暖化の原因でもある温室効果ガスの排出もないことや大気中の汚染の原因となる酸化物も一切排出することなく発電出来ます。
- ▶ 太陽光発電は二酸化炭素を排出しないことや雨や曇りの日でも発電できるメリットがあります。



⑤ 10代からの提言

地球温暖化を止めるために自分たちができることを考えて
これからの生活に活かしていきましょう！！！！



⑥ まとめ・感想

このように発電のやり方を例にしてもたくさんの工夫をすれば二酸化炭素の排出を少なくすることもでき環境にも優しく地球温暖化防止に繋がります！。

みなさんも自分でできる工夫をして地球温暖化を防止していきましょう！。